

## 化学物質・製品安全

### 化学物質管理

2002年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）」において合意された「2020年目標」\*1の実現のために、2006年の「国際化学物質管理会議（ICCM）」において、科学的なリスク評価に基づくリスク削減、情報の収集と提供などを進める「国際的な化学物質管理に関する戦略的アプローチ（SAICM）」が採択されました。当社は、SAICM国内実施計画に沿って、化学製品の全ライフサイクルにおける人の健康や環境への悪影響の最小化に取り組んでいます。

\*1「2020年までに化学品の製造と使用により人の健康や環境への各影響の最小化を目指す」



### 製品ライフサイクルにおけるリスク評価

化学製品の研究開発、製造、販売、変更等に至る各段階で、リスク評価（事前評価）を実施しています。バリューチェーンにおける人、環境へのリスク評価は、生物科学研究所が自社または外注で取得したデータ、文献等の外部データベースの安全性試験データの他、物理化学的性質、作業環境条件等が基礎となります。リスク評価結果に基づき、懸念化学物質の使用回避や、より安全な化学物質への代替を検討しています。これらのリスク評価結果は、トップマネジメントに報告され、社内の全関係者に周知されます。また、技術移転書またはSDS（安全データシート）等によってバリューチェーン内に伝達されます。

また、日本化学工業協会（JCIA）が推進する「化学物質が人の健康や環境に及ぼす影響に関する研究を長期的に支援する国際的な取り組み」である Long-Range Research Initiative にも参画し、人の健康や環境へのリスク評価に関する研究の進展に向けた活動をしています。



### 製品SDSの公開

当社の化学製品をお客様に安全に使用していただくために、全製品のSDS（Safety Data Sheet:安全データシート）を提供しています。とくに農薬は、全製品のSDSをホームページで公開し、お客様や使用者様にダウンロードしていただくことが可能です（<https://www.nissan-agro.net/products/index.php>）。また、社員は社内SDSデータベースから製品の危険性や有害性、法規制、輸送、保管、廃棄方法等の情報を取得し、安全や法令遵守に役立てています。

